

令和3年度  
学校評価に関する内部評価委員会  
評価結果報告書

沖縄県立農業大学校

(様式1)

令和3年度 沖縄県立農業大学校評価システムシート (内部評価結果)

作成：令和4年2月9日時点

教育の基本方針	1. 次世代の農業を担う経営感覚に優れた青年農業者等、新たな担い手を育成する。 2. 地域の農業振興を先導する実践的リーダーを養成する。						総合評価																																					
重点目標	(1) 教育内容の充実・強化 (2) 学生支援の強化 (進路指導の充実、実践力の養成) (3) 卒業生の就農率の向上、進路決定率の向上		(4) 資格取得率の向上 (5) 入学希望者の確保 (6) 効率的な学校運営		(7) 教育環境整備と施設管理の徹底 (8) 県民サービスの向上		A：80%以上 B：60%以上80%未満 C：40%以上60%未満 D：40%未満																																					
重点目標	評価項目	現状・前年度実績	評価内容 具体的方策・評価指標	内部 評価	今年度実績		次年度の課題 ・改善策	外部 評価	学校関係者 (外部) 委員 の意見																																			
<p>&lt;重点目標1&gt; 教育内容の充実・強化</p>	<p>ア-1 個々の学生の能力に対応した指導が充実されているか。</p>	<p>【現状】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● R3年度の入学者の79.1%は非農家出身者</li> <li>● 入学者に占める社会経験者の割合が増加傾向にある。</li> <li>● 基礎的な農業知識や基礎学力の面で学生間に格差がみられる</li> <li>● コミュニケーション能力やプレゼンテーション能力が不足している学生が多い傾向にある</li> <li>● 学生の学びに対するニーズが多様化している</li> </ul> <p>(参考データ)</p> <p>★農業科系高校と非農業科系高校出身者の入校割合 (直近4ヶ年)</p> <table border="1" data-bbox="566 1220 1086 1402"> <thead> <tr> <th></th> <th>農業科系高校</th> <th>非農業科系高校</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H30</td> <td>46%</td> <td>27%</td> </tr> <tr> <td>H31</td> <td>59%</td> <td>27%</td> </tr> <tr> <td>R2</td> <td>68%</td> <td>14%</td> </tr> <tr> <td>R3</td> <td>55%</td> <td>13%</td> </tr> </tbody> </table> <p>&lt;前年度実績&gt; 2年生のプロジェクト学習</p> <table border="1" data-bbox="566 1507 1086 1577"> <thead> <tr> <th></th> <th>本科(2年)</th> <th>短期養成科</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>22課題</td> <td>22</td> <td>8</td> </tr> </tbody> </table> <p>&lt;学生の多様な学びへの取組&gt;</p> <p>1) 他分野を学ぶ栽培各論 (実習・座学)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 実習 8回、● 座学 5回</li> </ul> <p>2) アグリクラブのクラブ員への支援</p> <p>クラブへの参加者 <b>実績：5人</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>① 短期養成科果樹専攻 3名</li> <li>② 本科花き専攻1年 1名</li> <li>③ 本化野菜専攻1年 1名</li> </ul>		農業科系高校	非農業科系高校	H30	46%	27%	H31	59%	27%	R2	68%	14%	R3	55%	13%		本科(2年)	短期養成科	22課題	22	8	<p>&lt;個々の能力に応じたプロジェクト学習への取組&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 基礎的な技術の習得に加え学生が積極的に実習に取り組めるよう工夫改善を行っているか</li> <li>● プロジェクト学習に対する学生への意識付けと指導がしっかりと行われているか</li> <li>● 地域課題を踏まえたプロジェクト活動の取り組みは行われているか</li> <li>● 学生が多様化している状況を踏まえ学生のニーズやレベルに応じた教育の提供が行われているか</li> </ul>	B	<p>■ 概ね目標通りの成果</p> <p>実績：本科(2年) 24課題 短期養成科 10課題</p> <table border="1" data-bbox="1596 800 1952 968"> <thead> <tr> <th></th> <th>(本科)</th> <th>(短期)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>野菜</td> <td>6</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>花き</td> <td>3</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>果樹</td> <td>9</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td>肉用牛</td> <td>6</td> <td>—</td> </tr> </tbody> </table> <p>* 10/7、名護市民会館大ホールにてプロジェクト学習成果発表会を実施した。コロナ感染拡大防止のため学内関係者のみに入場を制限して開催した。 * 1/28、本校体育館にて短期養成科の研修成果発表会を開催した。</p> <p>1) 他分野を学ぶ栽培各論 (実習・座学)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 他分野を学ぶ実習 <b>実績7回</b></li> <li>野菜 : 2回 (4/21、5/19)</li> <li>花き : 2回 (5/6、6/29)</li> <li>果樹 : 2回 (5/12、6/9)</li> <li>肉用牛 : 1回 (2回目はコロナ影響で中止)</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 他分野を学ぶ栽培各論 (座学) <b>実績2回</b></li> <li>野菜 : 1回 (7/7、1回はコロナ影響で中止)</li> <li>花き : 0回 (コロナ影響で中止)</li> <li>果樹 : 1回 (1回はコロナ影響で中止)</li> </ul> <p>2) アグリクラブ員への支援</p> <p>クラブへの参加者 <b>実績：13人</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>① 短期養成科 4名</li> <li>② 本科1年 5名</li> <li>③ 本科2年 4名</li> </ul> <p>3) 資格試験等受験対策勉強会の開催</p> <p>毒物劇物取扱資格対策勉強会 <b>実績2回</b></p>		(本科)	(短期)	野菜	6	3	花き	3	2	果樹	9	5	肉用牛	6	—	<p>■ (*1-内)</p>		<p>◆ (*1-外)</p> <div data-bbox="2178 764 2852 1167" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>( * 1-内 ) = 内部評価委員による次年度の課題・改善策</p> <p>① 農業経営プロジェクトを実践するにあたってしっかりと計画や目標が設定されていなかったり、日々の記録が不十分な学生が散見された。 → 課題設定への取り組み強化が必要と感じる。</p> <p>② プロジェクト計画の発表をすることが目的となっていると感じることがある。短期・中期・長期的な計画・目標を担当職員が一緒になって立てる必要がある。学生指導に対する職員のスキルアップが必要 (研修等)</p> </div>
	農業科系高校	非農業科系高校																																										
H30	46%	27%																																										
H31	59%	27%																																										
R2	68%	14%																																										
R3	55%	13%																																										
	本科(2年)	短期養成科																																										
22課題	22	8																																										
	(本科)	(短期)																																										
野菜	6	3																																										
花き	3	2																																										
果樹	9	5																																										
肉用牛	6	—																																										

<p>3)資格試験等受験対策勉強会取組実績  農業技術検定対策勉強会 8回  毒劇物取扱者資格勉強会 2回  就職試験対策講座 3回  実習助手試験対策 4回</p> <p>職員の指導力向上に向けた取組</p> <p>1)職員研修の実施 実績 4回  ①転入職員研修 1回  ②学生支援について 1回  ③オンライン授業のやり方に関する研修 2回</p> <p>2)研修会等への参加 実績 2回</p> <p>3)職員の資格取得 前年度実績 6 資格 16人  ①毒物劇物取扱者資格 0人  ②農耕用大型特殊運転免許資格 3人  ③けん引免許 2人  ④フォークリフト運転技能講習 2人  ⑤アーク溶接 3人  ⑥ガス溶接 3人  ⑦その他 3人  ・車両系建設機械 3人</p>	<p>●指導職員が自己の能力開発を進め、指導力の向上に努めているか</p>	<p>就職試験対策講座 <u>実績 17回</u></p> <p>職員の指導力向上に向けた取組</p> <p>1)職員研修の実施 <u>実績 2回</u></p> <p>①転入職員研修 (4/6)  ②学生支援について (4/13)</p> <p>2)研修会・研究会等への参加 <u>実績 6回</u>  ①農研機構「カンキョウ新技術・新品種研修」  第1回オンライン (8/31～9/1)  第2回オンライン (9/1～9/2)  第3回オンライン (11/18)  第4回オンライン (11/19)  ②沖縄畜産研究大会での発表 (2課題)  沖縄畜産研究会誌論文掲載 (2題)  ③農水省主催オンライン研修 (農大に求められる新たな役割と機能)</p> <p>3)職員の資格取得 <u>実績：7資格／4人</u>  ①毒物劇物取扱者資格 0人  ②農耕用大型特殊運転免許資格 3人  ③けん引免許 0人  ④フォークリフト運転技能講習 1人  ⑤アーク溶接 1人  ⑥ガス溶接 1人  ⑦その他 3人  ・小型移動式クレーン 2人  ・玉掛 2人  ・車両系建設機械 1人</p>
<p>1)九州意見発表会への派遣  前年度実績：1人 (オンライン開催)</p> <p>2)九州プロジェクト成果発表会への派遣  前年度実績：2人 (オンライン開催)</p> <p>3)全国農業大学校プロジェクト発表会への参加 (東京都)  前年度実績：コロナ影響により現地開催が中止となったため派遣者なし</p>	<p>●プレゼンテーション能力やコミュニケーション能力向上への取り組み支援が適切に行われているか</p> <p>4)論文・作文コンクールへの応募 (R3 追加項目)</p> <p>5)研究会等での発表 (R3 追加項目)</p>	<p>■九プロ発表大会では、惜しくも全国大会出場は果たせなかったものの上位入賞を果たすことができた</p> <p>1)九州意見発表会への派遣  <u>実績：1人</u> (野菜専攻1年)</p> <p>2)九州プロジェクト成果発表会への派遣  <u>実績：2人</u> (2課題 野菜1人、花き1人)  *今年度は宮崎県開催の予定であったが、新型コロナウイルス感染拡大の影響によりリモートによる開催となった。</p> <p>3)全国農業大学校プロジェクト発表会への参加  <u>実績：派遣なし</u>  *本校にてオンライン視聴を行った (コロナの影響により2年連続の現地開催中止)</p> <p>4)論文・作文コンクールへの応募 (追加)  <u>実績：2人</u></p> <p>5)研究会等での発表 (追加)  <u>実績：4人</u>  ・日本暖地草地畜産学会への論文投稿に関する</p>

<p>ア-2 先端的な知識・技術を修得するための実践教育や研修に取り組んでいるか。</p>	<p>農業研究センター・畜産研究センター等との連携プロジェクトの取り組み (現状) 前年度実績：18課題(1年生) 野菜 7課題 花き 2課題 果樹 3課題 肉用牛 6課題</p>	<p>●農業研究センター・畜産研究センター等との連携プロジェクトの取り組みが行われているか</p>	<p>試験の実施(2人、2題) ・沖縄畜産研究大会での発表(2人)</p> <p>■全ての専攻において連携プロジェクトの取り組みが行われた</p> <p>農業研究センター・畜産研究センター等との連携プロジェクトの取り組み B 実績：12課題(1年生) 野菜 4課題 花き 1課題 果樹 3課題 肉用牛 4課題</p> <p>R 3年度連携プロジェクト課題数 野(4課題) ①施設ヘチマ(新品種「沖農N1」)の収益性と仕立て方法の検討②ゴーヤー新品種「研交7号」の収益性と新仕立て方法の検討③トマト特別栽培基準による収益性の検討④大型ビーマンの着果負担を減らすための仕立て方法の検討 花(1課題) ①トルコギキョウの栽培技術の習得と収益性の検討 果(3課題) ①マンゴー栽培における天敵を利用した害虫防除と誘引資材の検討②農研センター選抜のパッションフルーツ品種登録候補の実証試験栽培③ビタヤとマンゴーの組み合わせによる収益性の検討 肉(4課題) ①自給飼料の細断長による子牛生育への影響と経営コストの検討(仮題)②自給飼料生産コストの検討(仮題)③黒毛和種の肉質向上とコスト削減の検討④肥育前期における飼養管理技術の向上(ロース芯面積・バラ厚・カブリの大きな枝肉を目指して)</p>	<p>■(*2-内) (*2-内) ①目標設定のあり方について見直し工夫が必要</p>
<p>イ. 先進農家等派遣研修について十分な教育体制を整備しているか</p>	<p>①先進農家等への派遣研修 前年度実績：29人 ＜県内計画＞25人 農業法人2法人(2人) 先進農家17件(17人) 関係団体等6件(6人) ＜県外計画＞4人 農業法人3件(4人)</p>	<p>●派遣研修前の事前研修は計画通り行われていたか ●研修受入先からは高い評価を得られていたか ●学生の就農意欲の向上や将来展望の形成等に繋がる研修となっていたか</p>	<p>■コロナの影響を受け、当初の日程を3週間遅らせ実施することができた。大きな混乱もなく受入先の評価は概ね良好であった。</p> <p>①先進農家等への派遣研修 実績：29人 ※コロナ感染拡大の影響により当初計画の9/27開始を10/18開始に変更して5週間実施した。 ※研修成果報告会を11/30に実施した。 ＜県内計画＞21件、26人 農業法人6件(9人) 先進農家9件(9人) 農業関係企業・団体等6件(8人) ＜県外計画＞3人</p>	<p>■(*3-内) (*3-内) ①進路に対するイメージ作りのため1年次の早い段階で3日～5日間程度のインターンシップ研修導入に向け検討を行う ②コロナ禍の中で計画通りに実施できたことは評価できるのではないかと。視察研修は、コロナの状況を見ながら短期間で集中的に計画することで例年以上の実績となった。</p>

			農業法人3件(3人) (派遣先:鹿児島1人、熊本1人、大分1人)  <派遣実習の受入先評価> 良好:90%、概ね良好:9%、改善を要する:1%	
	先進農家、市場等視察研修 前年度実績:31回 野7回、花7回、 果5回、肉16回	●先進農家、農業関連企業等を有効に活用しているか  ●学生の就農意欲の向上や将来展望の形成等に繋がる研修となっていたか	■コロナ禍で活動が制限される状況もあったが、結果、前年度を上回る活動実績であった  先進農家、市場等視察研修 実績:42回 野7回、花10回、 果9回、肉16回	
	③海外派遣研修 前年度実績:0名	●海外農業研修説明会は適切な時期に開催されているか  ●沖縄県国際農友会との連携は有効的に行われているか	■海外研修OB等による全体説明会を5月に開催、本年度3名が応募、うち2名の派遣が内定(1名は辞退)  ③海外農業研修への派遣内定者数 実績:2名(スイス、アメリカ)	
ウ.農業高校との連携、地域等との交流活動は行われているか	<b>農業高校等との連携活動</b>  前年度実績:6回 ①県学校農業クラブ連盟大会審査員派遣 前年度実績:中止(コロナ影響) ②農産物活用での連携授業 前年度実績:1回  ③農業高校生の実習交流等の受入 前年度実績:2回 ・北部農林高校園芸科10名(3年生) ・南農高校生物資源科40名(1年生)  ④農林高校へのプロジェクト学習九州選抜審査会への審査員派遣依頼 前年度実績:1回、1人 ⑤プロジェクト学習成果発表会招待 前年度実績:コロナ影響により招待なし ⑥教育センターICT施設視察研修 前年度実績:1回 ⑦夏季短期研修受入 前年度実績:中止(コロナ影響) ⑧農業教育研究会への参加 前年度実績:1回 (1回はコロナ影響により中止)	●農業高校等との連携活動は十分に行われているか	■コロナ禍で、昨年同様、各行事の中止が相次ぐなど、従来の活動や取り組みが大きく制限された。一部の行事はリモートに変更し実施した  <b>農業高校等との連携活動</b> 実績:8回 ①県学校農業クラブ連盟大会審査員派遣 実績:1回、3名派遣  C ②農産物活用での連携授業 実績:中止(コロナ影響)  ③農業高校生の実習交流等の受入 実績:3回 ・北部農林高校 熱帯農学科(12人、2回) ・中部農林高校食品加工科(40人、1回)  ④農林高校へのプロジェクト学習九州選抜審査会への審査員派遣依頼 実績:1回、1人(12/14)  ⑤プロジェクト学習成果発表会招待 実績:コロナ影響により招待なし  ⑥教育センターICT施設視察研修 実績:0回(コロナ影響)	(*4-内)  <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">           (*4-内)            ①農業高校の担当教諭との意見交換会の実施検討            ②コロナ影響により研修中止、発表会への招待なしなど交流が制限された。次年度は開催方法を工夫して実施していきたい。         </div>

	<p>⑩農林高校の農業祭への参加 前年度実績：案内なし</p>		<p>⑦夏季短期研修受入 実績：中止（コロナ影響）</p> <p>⑧農業教育研究会への参加 実績：2回 *リモート開催によりオンライン参加</p> <p>⑩農林高校の農業祭への参加 実績：1校 *案内のあった1校に参加した</p>		
	<p>②地域との交流や販売実践活動を通して接客能力やコミュニケーション能力を鍛える</p> <p>前年度実績：合計4回 野菜（1回） 花き（2回） 果樹（2回） 肉用牛（0回）</p>	<p>●地域との交流や販売実践活動は十分に行えたか</p>	<p>■コロナの影響を受け例年通りの活動が行えなかった。前年度とほぼ同じ活動実績</p> <p>地域との交流や販売実践活動 実績：合計5回 野菜（実績1回） ・ジュニア農業大学校 花き（実績2回） ・お花摘み体験学習受入（あすなろグレース保育園） ・ジュニア農業大学校 親子フラワーアレンジ教室 果樹（実績2回） ・農大マンゴーフェア（道の駅） ・ジュニア農業大学校 肉用牛（実績0回） ・県畜産共進会→コロナ影響で中止 ・北部地区畜産共進会→コロナ影響で中止</p>		
<p>エ.関係分野との連携による実践的な職業教育が体系的に行われているか</p>	<p>●企業等との連携による実践的な職業教育が行われていたか</p> <p>①毒劇物取扱資格取得研修（第一農薬主催、JA主催）の開催 前年度実績：3回、15人 ・校内特別講習 3回、15人（第一農薬） ・JA直前講習（コロナ影響により参加なし）</p> <p>③マナー講座の開催（本科1,2年） 前年度実績：1回（8/3、61名）</p> <p>④GAPの基礎知識の習得 前年度実績：5回</p> <p>⑤企業等との連携による商品開発 前年度実績：1社</p>	<p>■コロナ影響により例年並みの取り組みが行えなかった。今年度はコロナ禍にあった前年とほぼ同じ実績</p> <p>①毒劇物取扱資格取得研修（第一農薬主催、JA主催）の開催 実績：2回、9人 B ・校内特別講習（第一農薬）（実績2回） ・JA直前講習（コロナ影響により参加なし）</p> <p>③マナー講座の開催（本科1,2年） 実績：1回（日時7/20、人数29名） 講師：ハローワーク職員</p> <p>④GAPの基礎知識の習得 実績：1回（「環境保全型農業」の講義にて） 講師：沖縄GAP協会 岸本氏</p> <p>⑤企業等との連携による商品開発 実績：1社（なごアグリパークとの連携）</p>	<p>■（*5-内）</p> <p>（*5-内） ①スマート農業関連の講座の充実化を図る ②各専攻においてGAPを実践指導していく</p>		

<p>オ.防火防災・事故対応訓練は体系的に行われているか</p>	<p>①防災等各種訓練の実施 前年度実績：1回</p> <p>②救急救命措置訓練の実施 前年度実績：中止</p> <p>③交通安全講習会の実施 前年度実績：中止</p> <p>④農作業安全啓発への取組（追加） 前年度実績：2回 1)講習会の実施 2)ヒヤリハット事例調査件数7件</p>	<p>●防火防災・事故対応訓練等は効果的に行われていたか</p>	<p>■コロナ影響により中止が相次ぎ例年並みの訓練や講習を実施することが出来なかった。</p> <p>C</p> <p>①防災等各種訓練の実施 実績：1回（5/26）</p> <p>②救急救命措置訓練の実施 実績：0回 （7/13～7/26で5回予定していたがコロナで中止）</p> <p>③交通安全講習会の実施 実績：1回（7/28）</p> <p>④農作業安全啓発への取組（追加） 実績：2回 1)職員を対象とした農作業安全啓発（4月） 2)ヒヤリハット事例調査件数7件</p>	<p>■（*6-内）</p>	<p>（*6-内）</p> <p>①作業機械によるケガが多いこと。作業中の熱中症の発症もあるため随時注意喚起や効果的な啓発を工夫して行う必要がある。</p>	
<p>&lt;重点目標2&gt; 学生支援の強化（進路指導の充実、実践力の養成）</p>	<p>ア-1 個々の学生の進路に対応した指導が充実されているか</p> <p>ア-2 保護者との連携は、適切に行われているか</p>	<p>①学生・保護者・担任との三者進路面談 前年度実績：2回 2年生対象（保護者参加率93%） 1年生対象（保護者参加率97%）</p> <p>②農大生就農トライアル相談会の実施 前年度実績：1回</p>	<p>●早い段階での学生の就農進路に対するイメージづくりはできていたか</p>	<p>■計画通りの実績</p> <p>B</p> <p>①学生・保護者・担任との三者進路面談 実績：2回 54名 2年生対象（7/1、保護者参加率75%、21名/28名） 1年生対象（11/9、" 77%、20名/26名）</p> <p>②農大生就農トライアル相談会の実施 実績：1回（7/6、参加事業者数6社）</p>	<p>■（*7-内）</p>	<p>（*7-内）</p> <p>①入学直後に1年・短期の面談を取り入れたことでその後の支援の方向性・計画が立てやすかった。今後も継続すべきと考える。</p>
<p>①沖縄県新規就職相談会等への案内 前年度実績：相談会1回</p> <p>②就職先として有力な農場視察の実施 前年度実績：18箇所</p>	<p>●沖縄県新規就職相談会等への案内や就職先として有力な農場視察の実施</p>	<p>■概ね計画通りの実績 数名の学生が法人とのマッチングに繋がった</p> <p>①沖縄県新規就職相談会等への案内 実績：相談会1回 1)第1回 中止（コロナ影響） 2)第2回（12/5）実績：学生5人参加 相談ブース訪問数20人</p> <p>②就職先として有力な農場等の視察 実績：20箇所 野：4箇所の農場視察 花：4箇所の農場視察 果：3箇所の農場視察 肉：9箇所の農場視察</p>	<p>■全学生との個別面談を実施し、学生の意向に応じて適宜情報収集や情報提供が行われていた結果、今年度も71.4%と高い就農率を維持できた</p>			
<p>新規就農コーディネーターとの連携</p>	<p>●学生の進路意向調査や面談は、状況に応じて適宜適切な対応が行われていたか</p>					

<p>&lt;前年度実績&gt;  ①個別相談 23 回、延べ 99 人面談（1 月末時点）  ②農業法人等現地案内 12 回、延べ 14 人  ③農大での特別講義（40 人、日時 12/3 ）  ④農大職員との意見交換会（2 回、9/18、12/7）  ⑤農大校行事等での連携（4 回）</p>		<p>&lt;実績&gt;  ①個別相談 23 回、延べ 89 人面談（1 月末時点）  ②農業法人等現地案内 9 回、延べ 9 人  ③農大での特別講義（34 人、日時 4/12 ）  ④農大職員との意見交換会（1 回）  ⑤農大校行事等での連携（10 回）  4/14 新入生面談、7/1 2 年生面談、  11/9 1 年生面談、発表会 4 回</p>
<p>就農予定者と普及機関への顔合わせ  前年度実績：3 回</p>	<p>●就農予定学生と農業改良普及指導機関との連携は行われているか</p>	<p>■コロナ禍で現地での顔合わせ会は中止となったが、普及機関へは情報提供を行った</p> <p>実績：情報提供 3 機関</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・北部地域就農予定者と普及機関への顔合わせ（コロナ影響で中止）</li> <li>・中部地域就農予定者と普及機関への顔合わせ（コロナ影響で中止）</li> <li>・南部地域就農予定者と普及機関への顔合わせ（コロナ影響で中止）</li> </ul> <p>実績：普及機関への個別支援への繋ぎ 5 回</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・果樹専攻 3 回</li> <li>・花き専攻 2 回</li> </ul>
<p>次世代人材投資資金交付者  前年度実績：新規 1 2 人</p>	<p>●農業次世代人材投資資金準備型希望者への支援は適切に行われているか</p> <p>●資金制度への理解や個別相談に応じた経営改善計画作成等に関する助言は適切に行われていたか</p>	<p>■学生の就農計画に基づき関係機関と連携を密にし学生支援に取り組むことができた</p> <p>実績：新規 1 5 人</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・事業説明会の開催（保護者にも案内）（4/27、保護者の参加 10 名）</li> <li>・応募希望者への申請書作成についての説明会の開催（4/28、参加者 27 名）</li> <li>・今年度の新規申請者は、合計 15 人（本科 1 年 4 人、本科 2 年 5 人、短期養成科 6 人）。昨年度からの継続 5 人を含めると交付者は合計 20 人。</li> </ul>
<p>後援会ホームページ及び LINE での情報発信  前年度実績：161 回（＝ 3.6 回/週）  1) 後援会ホームページの更新 111 回  2) 後援会 LINE での情報発信 50 回</p>	<p>●後援会と学校とのネットワーク強化が図られているか</p>	<p>■学生や保護者に向けて遅滞なく適宜情報発信が行えた</p> <p>実績：144 回（＝ 3 回/週）  1) 後援会ホームページの更新 24 回（1 月末時点）  2) 後援会 LINE での情報発信 120 回（ " ）</p>



	イ.学生自治会活動に対する支援体制が整備され、有効に機能しているか	自治会の活動支援 1) 農業経営力養成講座への派遣 前年度実績：0人 2) 九州地区リーグ研修会への派遣 前年度実績：中止 3) 九州地区親善体育大会への派遣 前年度実績：中止 4) 自治会活動への取組支援 前年度実績：役員会 11回 職員と学生との意見交換会 2回 5) 校内球技大会等の開催 前年度実績：1回	●学生自治会の取り組みは有効に機能しているか	■コロナ禍で行事の中止が相次ぎ例年並みの取り組みは行えなかった。実績は昨年同様  1) 農業経営力養成講座への派遣 実績：0人*現地開催はコロナ影響により中止 C 2) 九州地区リーグ研修会への派遣 実績：中止(コロナ影響) 3) 九州地区親善体育大会への派遣 実績：中止(コロナ影響) 4) 自治会活動への取組支援 実績：役員会 16回 5) 校内球技大会等の開催 実績：自治会行事6回 6) 実績：九州地区農大協議会事務局(R3年度) 全国大会役員会	■(*8-内)		
<重点目標3> 卒業生の就農率の向上、進路決定率の向上	ア 就農率の目標を達成出来たか。  イ 卒業生全員の進路は決定したか。	①就農率 前年度実績：81.1%  ②卒業生の全員の進路決定(目標100%) 前年度実績：100%	●目標は達成出来たか  就農率目標：60%(本科+短期)  進路決定率目標：100%	■就農率及び学生全員の進路決定率において目標を達成した 実績：就農率 73.7%(法人就農含む、最終) (就農率の参考) 全国農大平均 53.5%(R2) 九州ブロック平均 65.8%(R2)  A 実績：100%(最終)	■(*9-内)  (*9-内) ①学生の就職活動等の進路決定に向けての動き出しがとて遅い。2年生になる前の動機づけが必要。自己分析、志望動機作成、面接対策等、特別講義に取り入れるなどの工夫が必要。		
<重点目標4> 資格取得率の向上	ア. 資格取得の向上のため、指導が充実されているか。  イ. 営農や就職に有利な資格取得の推進が図	①農業機械関連資格取得への取り組み 1) 農業機械士 前年度実績：32人、認定率 82.1% 2) 農耕用大型特殊 前年度実績：42人、合格率 100% 3) 農耕用けん引 前年度実績：32人、合格率 100% 4) フォークリフト運転技能講習修了 前年度実績：34人、合格率 100%  ②畜産関連資格取得への取り組み 1) 家畜人工授精師 前年度実績：11人、合格率 100% 2) 家畜商 前年度実績：12人、合格率 100%	●資格取得への取り組みは効果的に 行われていたか	■目標通りの実績 ①農業機械関連資格取得率 1) 農業機械士 実績：36人(認定率 90%) 2) 農耕用大型特殊 実績：30人(合格率 100%) 3) 農耕用けん引 実績：26人( // 100%) 4) フォークリフト運転技能講習修了 実績：20人( // 100%)  A ②畜産関連資格取得率、受講率 1) 家畜人工授精師 実績：10人(合格率 100%) 2) 家畜商 実績：コロナ影響により中止	■(*10-内)  (*10-内) ①学生の要望に対して柔軟に対応出来ている。 ②引き続き次年度も資格取得の推進と意識付けの強化を図っていく。 ③希望する学生には補習をするなど対応できた		
	イ. 営農や就職に有利な資格取得の推進が図	①毒劇物取扱者資格取得者数 前年度実績：合格 4人	●資格取得の推進が図られているか  ●新たな資格取得の環境整備が図ら	■受検者数及び合格者数が総じて増加傾向にあり、学生の資格取得に対する意識の高まりがみられた			

	<p>られているか</p>	<p>(受験9人、合格率44%)</p> <p>②農業技術検定合格者数 前年度実績 2級合格2人(受験8人、合格率25%) 3級合格1人(受験1人、合格率100%) 1級合格0人(受験2人、合格率0%)</p> <p>③ガス溶接技能講習修了 前年度実績:31人、合格率100%</p> <p>④アーク溶接特別教育終了 前年度実績:33人、合格率100%</p> <p>⑤その他 1)小型移動式クレーン 2)車両系建設機械</p>	<p>れているか</p>	<p>①毒劇物取扱者資格取得者数 実績:合格4人(受験者8人、合格率50%)</p> <p>②農業技術検定合格者数 実績:2級合格4人(受験27人、合格率15%) (参考:R3年度2級合格率 全国 23%) 3級合格7人(受験7人、合格率100%) (参考:R3年度3級合格率 全国 63%) 1級合格0人(受験2人、合格率0%) (参考:R3年度1級合格率 全国 5%)</p> <p>③ガス溶接技能講習修了 実績:30人(合格率100%)</p> <p>④アーク溶接特別教育終了 実績:28人(合格率97%)</p> <p>⑤その他 実績:32人 1)小型移動式クレーン3人 2)車両系建設機械(整地)27人 3)車両系建設機械(解体)2人</p>																																											
<p>&lt;重点目標5&gt;</p> <p>入学希望者の確保</p>	<p>ア-1. 学生確保の活動は、適切に行われているか。</p> <p>ア-2. 教育活動の積極的な情報公開に努めているか。</p>	<p>(現状)</p> <p>■入学試験応募者数の推移(過去3ヶ年)</p> <table border="1" data-bbox="563 1218 1053 1417"> <thead> <tr> <th></th> <th>本科</th> <th>短期</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H31 (R1)</td> <td>46人</td> <td>9人</td> <td>55人</td> </tr> <tr> <td>R2</td> <td>38</td> <td>10</td> <td>48</td> </tr> <tr> <td>R3</td> <td>34</td> <td>13</td> <td>47</td> </tr> <tr> <td>R4</td> <td>36</td> <td>28</td> <td>64</td> </tr> </tbody> </table> <p>■定員充足率の推移(過去5ヶ年)</p> <table border="1" data-bbox="563 1470 1053 1732"> <thead> <tr> <th></th> <th>本科</th> <th>短期</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H29</td> <td>93%(28人)</td> <td>60%(6人)</td> </tr> <tr> <td>H30</td> <td>87%(26人)</td> <td>110%(11人)</td> </tr> <tr> <td>H31</td> <td>107%(32人)</td> <td>90%(9人)</td> </tr> <tr> <td>R2</td> <td>107%(32人)</td> <td>80%(8人)</td> </tr> <tr> <td>R3</td> <td>90%(27人)</td> <td>110%(11人)</td> </tr> <tr> <td>R4</td> <td>93%(28人)</td> <td>150%(15人)</td> </tr> </tbody> </table>		本科	短期	合計	H31 (R1)	46人	9人	55人	R2	38	10	48	R3	34	13	47	R4	36	28	64		本科	短期	H29	93%(28人)	60%(6人)	H30	87%(26人)	110%(11人)	H31	107%(32人)	90%(9人)	R2	107%(32人)	80%(8人)	R3	90%(27人)	110%(11人)	R4	93%(28人)	150%(15人)	<p>●入学試験の応募者数の確保は出来ているか</p> <p>●定員充足率は100%を超えているか</p>	<p>■R4年度入学応募者数は64人で前年度比136%と前年度を大きく上回った。定員充足率は、本科が93%、短期養成科が150%で、全体での定員充足率は108%で目標を達成した。</p> <p>①オープンキャンパスの実施 実績:1回、46人 第1回中止(コロナ影響)申込者27人 第2回 46人(7/10)</p> <p>②県内高校の進路ガイダンスでの学校案内 実績:7校、77人 A 宜野座高校(6/10、コロナ影響による中止) 宮古総合実業高校(6/15、コロナ影響による中止) 南部農林高校(7/2、14人) 中部農林高校(7/8、12人) 中部農林高校(10/19、13人) 中部農林高校(11/30、23人) 八重山農林高校(12/8、15人)</p> <p>③ホームページによる情報発信 実績:10回 募集関係8回、行事関係2回</p> <p>④学校紹介・入学案内</p>	<p>■(*11之内)</p>	<p>(*11之内)</p> <p>①学生確保に関して、本科園芸課程への入学希望者の確保を強化する必要がある</p> <p>②学校案内パンフレットに活躍している卒業生の情報を追加すると卒業後の就農のイメージがつかみやすくなるのでは</p> <p>③対外的な研究発表会等で積極的に学生を発表させるなど、本校の魅力をもっとPRしていく必要がある。</p>
	本科	短期	合計																																												
H31 (R1)	46人	9人	55人																																												
R2	38	10	48																																												
R3	34	13	47																																												
R4	36	28	64																																												
	本科	短期																																													
H29	93%(28人)	60%(6人)																																													
H30	87%(26人)	110%(11人)																																													
H31	107%(32人)	90%(9人)																																													
R2	107%(32人)	80%(8人)																																													
R3	90%(27人)	110%(11人)																																													
R4	93%(28人)	150%(15人)																																													

				<b>実績</b> 1) 6回 (6/10、6/15、7/2、7/8、10/19、12/8) 2) 6回 (6/10、6/15、7/2、8/18、11/30、12/8) 3) 26件 入学相談 (個人 16件)、入学案内送付 (10件) 4) 212箇所 高校 67校、県市町村 47機関、JA91箇所 その他 7件 (訪問配布含む) 5) コロナ影響により参加できず 6) 1回 (12/2、西原町公民館にて、相談件数 20件) 7) 農大祭はコロナ影響により中止 なごアグリパーク市への出店参加 (2/13、 名) <b>⑤マスコミ等への積極的な学校 PR</b> <b>実績：4回</b> ・農業法人による特別講義 (6/7) ・県農林水産部長へのマンゴー贈呈式 (7/17) ・先進農家等 (MHC トリアールウィン) 派遣研修 ・保育園児への農大産農産物を使用したスイーツの贈呈式 (2/15) <b>⑥小中学生を対象とした職業紹介</b> 実績：1回、12/6、名護中学校生徒		
<b>&lt;重点目標 6&gt;</b> <b>効率的な学校運営</b>	ア.法令の遵守と適切な予算運営がなされているか	前年度定期監査結果：指導事項 1 件	<b>●適正な事務処理や予算執行がなされていたか</b>	<b>■事務処理遅延等での指摘事項があり今後の改善策等について検討を行った</b>  定期監査結果：指導事項 3 件  <b>B</b>	<b>■ (* 12-内)</b>	
	イ.職員の情報の共有が図られているか	前年度実績：80回 ・職員朝会 (毎週 1 回、49 回/年) ・学生指導にかかる運営会議 (3 回) ・就農・就職支援対策会議 (20 回) ・学校評価内部委員会 (2 回) ・教務委員会 (6 回)	<b>●職員の情報共有化が図られているか</b>	<b>■概ね計画通りの実績</b>  <b>実績</b> ・職員朝会 (毎週 1 回、49 回/年) ・学生指導にかかる運営会議 (3 回) ・就農・就職支援対策会議 (2 回) ・学校評価内部委員会 (2 回) ・教務委員会 (7 回)  <b>B</b>	<b>■ (* 13-内)</b>  <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <b>(* 13-内)</b>          ①学生の就農・就職についての情報共有をさらに強化する必要がある。       </div>	

<p>ウ.学生の安全管理に対する意識は醸成されているか</p>	<p>①農作業事故発生件数 前年度実績：農作業中のケガ6件</p>	<p>農作業事故発生件数目標：0件</p>	<p>■農作業中のケガ発生件数は前年度よりもさらに増加した。</p> <p>実績：農作業中のケガ 9件 (保険申請件数 全13件)</p> <p>C</p>	<p>■ (*14-内)</p>	<p>( * 14-内 ) ①学生安全管理は基本的で最も重要な事だと認識しており、もっと対策できるのではないかと感じている ①他県農大、農業関連企業での事故防止対策はどうやっているのか。情報収集が必要と考える。</p>
<p>エ.経営感覚の醸成、プロジェクト実践研修での売上げ目標は達成出来ているか</p>	<p>②生産物の売払収入 前年度実績：コロナの影響を受け目標を下回った</p>	<p>●プロジェクト実践研修での売上げ目標は達成出来ているか</p>	<p>■目標を達成した</p> <p>A</p>		
<p>&lt;重点目標7&gt; 教育環境整備と施設管理の徹底</p> <p>ア-1.教育施設、機械の充足度、維持管理、整理整頓、廃棄は、適切に行われているか。</p> <p>ア-2 学生寮の生活環境への支援は行われているか。</p>	<p>①教育施設の移転整備に向けた準備 前年度実績：21回</p> <p>②農業施設、機械等の充足度、廃棄等 前年度実績：24件</p> <p>③学校施設の維持管理等 前年度実績18件</p>	<p>●農業機械や教育施設の維持管理は適切に行われていたか</p>	<p>■コロナ禍で行事の中止を余儀なくされた。ほぼ前年並みの実績</p> <p>実績：8回 (7/5、7/19、7/29、8/13、8/26、9/27、10/20、11/17) ・設計業者とのヒアリング</p> <p>実績：18件</p> <p>B</p> <p>1)畜産課程関連の修繕10件 2)園芸課程関連の修繕8件</p> <p>実績：24件</p> <p>1)寮施設関係の修繕・取替 9件 2)学生食堂関係修繕 3件 3)教育棟・職員棟関連の修繕12件</p>	<p>■ (*16-内)</p>	<p>◆ (*16-外)</p> <p>( * 16-内 ) ①次年度も移転に向けて不用な備品の廃棄や準備を進める</p>

<p>&lt;重点目標8&gt; 県民サービスの向上</p>	<p>ア. 学校の教育資源や施設を活用した社会貢献を行っているか。</p>	<p>①就農サポート講座の実施 前年度実績：中止（コロナ影響）</p> <p>②農大日曜農業講座開催 前年度実績：中止（コロナ影響）</p> <p>③農業機械士養成研修開催</p> <p>④農業機械マネージメント研修開催 前年度実績：中止（コロナ影響）</p> <p>⑤指導農業機械士研修 前年度実績：中止（コロナ影響）</p> <p>⑥視察の受入 前年度実績：40件、75人</p> <p>⑦研修受入 前年度実績：3回、10人</p> <p>⑧沖縄県国際農友会との連携活動 前年度実績：中止（コロナ影響）</p> <p>⑨家畜人工授精師養成講習会の開催 前年度実績：実施なし（一般対象）</p> <p>⑩農大祭来場者 前年度実績：中止（コロナ影響）</p>	<p>●学校の教育資源や施設を活用した社会貢献を行ったか</p>	<p>■コロナ禍で行事の中止を余儀なくされた。ほぼ前年同様の実績</p> <p>C</p> <p>①就農サポート講座の実施 実績：2回（実習受入8名） ・基礎実習コース：2回（野菜1回、花き1回） （コロナ影響により残り2回は中止となった） ・基礎講座コース：0回（コロナ影響により中止）</p> <p>②農大日曜農業講座開催 実績：コロナ影響で中止</p> <p>③農業機械士養成研修開催 実績：2回、30人</p> <p>④農業機械マネージメント研修開催 実績：1回、6人</p> <p>⑤指導農業機械士研修 実績：1回、1人</p> <p>⑥視察の受入 実績：11件、55人（時点）</p> <p>⑦研修受入 実績：5回 37人 農業改良普及指導員3回、19人 ・花き課題研修（8人、12/24） ・畜産担当（7人） ・機械研修（4人） ・野菜研修（10人、3/10） 大特免許研修生 8人</p> <p>⑧沖縄県国際農友会との連携活動 実績：1回（5/12、海外農業研修説明会）</p> <p>⑨家畜人工授精師養成講習会の開催実績：14人（一般受講生）</p> <p>⑩農大祭来場者実績：12/2（変更）→ 1/23（コロナ影響で中止）</p>	<p>■（*17-内）</p>	<p>◆（*17-外）</p>